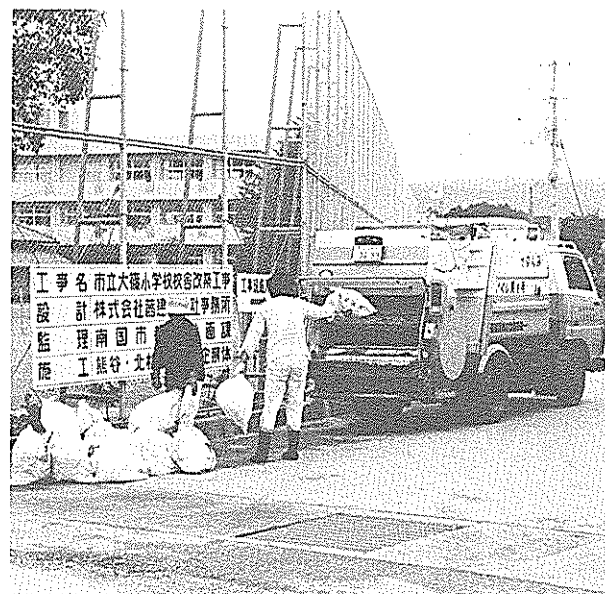


ゴミ問題を考える

年々増え続ける

「ゴミ戦争」という言葉が生まれたほど、ゴミはつかいなもの。石油化学製品の出現で、使い捨ての感覚が定着し、ゴミの量も種類も昔とずいぶん違ってきています。本市でも、日常生活から出るゴミの量は年々増え続け、五十六年度で八、二〇〇トを越え、ゴミ問題は深刻化する一方です。また、道路や河川に、ポイ捨てられるゴミや空きカンも依然として後を断ちません。みんなでゴミ問題を真剣に考えてみようではありませんか。



ゴミは集める人の身になって指定袋で正しく出そう

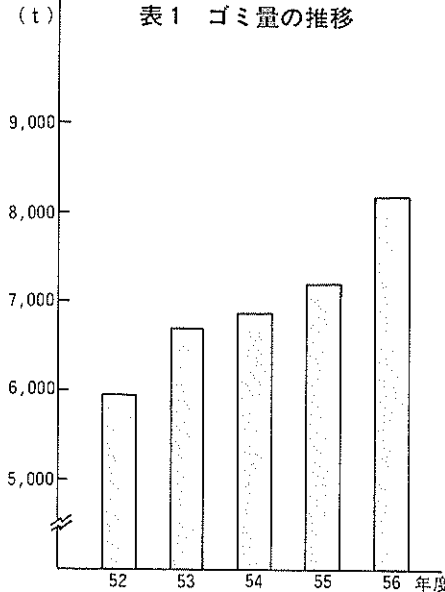
ゴミ

ゴミは年々増え続け、五十六年度には可燃物、金属類、金属類以外の不燃物の合計が八二一四ト（うち焼却場で処理した可燃物は約五七〇ト、一日平均一八ト）にも達しています。（表一）

また、ゴミ処理に要する経費（人件費、負担金を含む）も、それと平行して増大する一方です。（表二）

私たちは、まだ十分使える物、また修理をしたら使える物までむ

表1 ゴミ量の推移



やみやたらに捨ててはいけません。さらに、家庭で処理できるゴミまで出してはいけません。どうか。

集める人の身になって

収集日の前夜に出す人、指定袋以外で出す人など、いろいろなルールを守らない人がいますが、朝になるとのら犬やのら猫が袋を破り、ゴミが周辺にちらかっているステーションがあります。また、金属やビンなどを分別せずにゴチャゴチャにして出している人もいます。

集める人は気分が悪くなったり、ケガをする場合があります。ステーションは、ゴミ捨て場ではありません。ゴミを集める人の身になって、正しい方法で出すよう協力ください。

正しい出し方

燃えるゴミは、できる

だけ水切りして、スーパーの買物袋などの小袋に入れてから、指定袋に入れてください。

金属類

カン、クギ、トタン、電気器具などの金属で作られたもの、あるいは金属と木、金属とプラスチックなどの混合製品は、できるだけ壊して金属だけを出してください。壊すことが困難な場合は、金属が多い場合は金属へ、プラスチックなどの混合物が多い場合は金属類以外の不燃物へ出してください。また、これらは必ず荷造りをして出すようにしましょう。

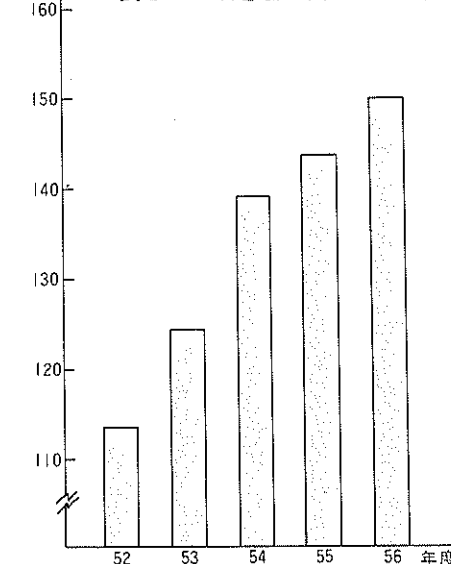
金属類以外の不燃物

ビン、ガラス、陶器、プラスチック

焼却場から一言

台所のゴミは水切りをしてほしいですね。カン、ビンが多く混ざっていますし、スプーン、ホーク、犬の死がい、鉄筋、農業用ビニールなどの燃えない物が。市民のみなさんも考えてほしいですね。

表2 ゴミ処理に要した経費



ツク製品などの燃えないゴミで、金属の少ない電気製品も含まれます。

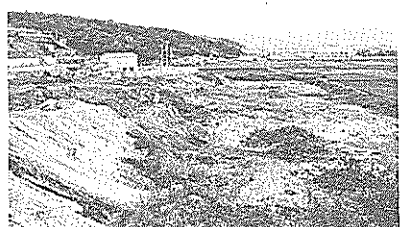
ビール、ジュースなどのビン類は割らないで、他の不燃物と分けて袋に入れてください。ビン類は再生しています。荷造りはきちんとしましょう。

※ステーションはいつもきれいにし、ご近所に迷惑をかけないようにするため、「指定袋」を使いましょう。

ゴミは指定日の朝八時までに出し、分別は必ず守ってください。ステーションは、部落や町内会などの単位で、衛生委員さんを中心にしてみんなできれいにします。他の部落や町内会のステーションへは出さないようにしましょう。

施設の現状と見通し

香南清掃組合焼却場 燃えるゴミは、パッカー車で収集されて



不燃物埋立地(片山)

この施設で焼却処理しています。香南清掃組合は、本市と野市町、吉川村、香我美町、赤岡町、夜須町、土佐山田町の七市町村が合同で作った焼却場で、昭和四十九年九月三十日に国分川沿いの廿枝（三島との部落境の所）に完成しました。

焼却能力は、二十四時間稼働して四〇ト焼却できる炉が二基、計八〇トの能力を持っていますが、現実は一日の稼働時間が八〜九時間、四〇トのゴミを焼却しています。毎日七市町村から約五〇トのゴミが運び込まれていますが、そのうち一〇トが残っていることになりま

す。この施設は、すでに八年が経過し、かなり老朽化してきていますので、公害や苦情の出ないような抜本的な対策が望まれています。

不燃物埋立地——金属類以外の不燃物は、片山地区のご理解を得て、千屋崎山のそばに昭和五十年から埋立てを始めています。埋立て始めてから七年め、現在七〇ト位が埋立てられ、あと三〜四年位すると満パイになる状況です。できるだけ早く次の埋立地を確保しなければなりません。新たな埋立地を確保することはなかなか困難なことです。

そこで、埋立量を少しでも少なくするため、また資源の再利用の



香南清掃組合焼却場



「ゴミを捨てるのが嫌になる」台風13号のおきみやげ...漁業組合の人たち総出で海岸の大そうじ(8月30日)